

A101 和文表題講演論文の書き方 第2報：必要に応じて副題

Instructions for Manuscript Preparation 2nd Report: Subtitle if you need

○冷凍 太郎* (日本橋大工), 空調 花子** (中央工大), 食品 二郎*** (大富大工)

○Taro REITO*, Hanako KUCHO** and Jiro SHOKUHIN***

*Department of Mechanical Engineering, Nihonbashi University, Chuo-ku, Tokyo, 103-0011, Japan

**Department of Physics, Chuo Institute of Technology, Meguro-ku, Tokyo, 152-0033, Japan

***Department of Chemical Engineering, Otomi University, Shibuya-ku, Tokyo, 151-0053, Japan

Abstract should be written with 10pt Times New Roman and single-space from here. The length of the abstract is limited within 150 words.

PDF(.pdf)ファイルに変換してから提出する。PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5 MB 以下とする。原稿内の和文フォントは明朝体を、英数字は半角文字とし Times New Roman を推奨する。提出期限：7月12日(金)必着。

Keywords: Keyword1, Keyword2, Keyword3, Keyword4, Keyword5

1. 原稿作成要領

原稿は A4 用紙 2 ページ～6 ページとし、本文は 10pt 明朝体を用いて 1 段組みで作成する。1 ページあたり全角 48 文字×53 行とする。この設定は、MS Word の「ページ設定／文字数の設定」での、「標準の文字数を設定する」に相当する。

1.1 原稿用紙

(1) 用紙サイズ

A4 用紙とする。

(2) 余白

上下左右に以下の寸法で余白を設定する。上部余白にはヘッダーを設け、「講演番号-ページ番号」を記入する。この例で、A101 となっているものは各自の講演番号に修正して下さい。1 ページ目の下部余白にはフッターを設け、「2019 年度日本冷凍空調学会年次大会講演論文集 (2019.9.11-13, 東京)」の文字を 8pt 明朝体で記入する。

上余白：25 mm 下余白：25 mm

左余白：20 mm 右余白：20 mm

上部ヘッダー：用紙端から 15 mm

下部フッター：用紙端から 15 mm

2. 原稿書式

Word のスタイル機能を使用すると容易に書式を設定できる。MS Word 2003 の場合「書式」→「スタイルと書式」を選択、Word 2007 以降の場合「スタイルリボン」右下の矢印ボタンをクリックし、各スタイルを選択できる。

2.1 表題

和文表題は 12pt 明朝体強調文字、中央揃えとする。表題の前には講演番号を英数半角 12pt Bold Times New Roman で記入する。必要に応じて、副題を同じ書体で改行して記す。

英文表題は、書体 10pt Bold Times New Roman とし、前置詞、冠詞を除く単語の先頭文字のみを大文字とする。副題は同じフォントを使用し、副題の先頭文字のみを大文字にして記す。

申し込み時からの題目の変更は原則認めない。変更せざるを得ない場合、「5. 問合せ先」に連絡する。

2.2 著者

副題から1行あけて、著者を記入する。書体は、和文では10pt 明朝体、英文では10pt Times New Roman とする。和文、英文ともに、講演者が35歳以上の場合は○を、35歳未満の場合は◎を講演者名の前に記入する。(35歳未満の場合、優秀講演賞選考対象者となる。) 英文による著者の姓 (family name) は大文字のみを用いる。その下に英文による所属を加える。全ての著者の所属、住所を例にならぬ記入する。

申し込み時からの著者名、著者の順序等の変更は原則認めない。変更せざるを得ない場合、「5. 問合せ先」に連絡する。

2.3 Abstract 講演概要

著者所属から2行あけて、Abstract を150語以内で記入する。書体は10pt Times New Roman, 両端揃えとする。

2.4 Keywords キーワード

Abstract から1行あけて、英文 keyword を3から5つ、中央揃えで記入する。Keyword の先頭文字のみを大文字とする。

2.5 本文

Keywords から2行あける。本文は1段組とする。設定の詳細は「1. 原稿作成要領」に記してある。

2.6 見出し

章、項、節の見出しは以下の通りとする。見出しの前は1行あける。見出しが続く場合はその限りでない。書体は本文と同じ10pt 明朝体であるが、章題のみ強調文字とする。

2.7 式

式と記号は、10pt 英文フォント斜体字で記述する。ただし、添字は標準体とする。式の前後には1行あけ、左側2文字の字下げとする。式番号を右端に記す。本文中では、Eq. (1)とする。

$$G_{in} - F_{in} = p_{in} V_{in} \quad (1)$$

2.8 図、表、写真など

図などを配置する場合、上下左右の余白にはみ出さないようにする。図などの説明は英文とし、本文中では、Fig.1, Table 1などと記す。図、表の題目の上下を1行あける。Fig. 1, Table 1は図、表の例である。

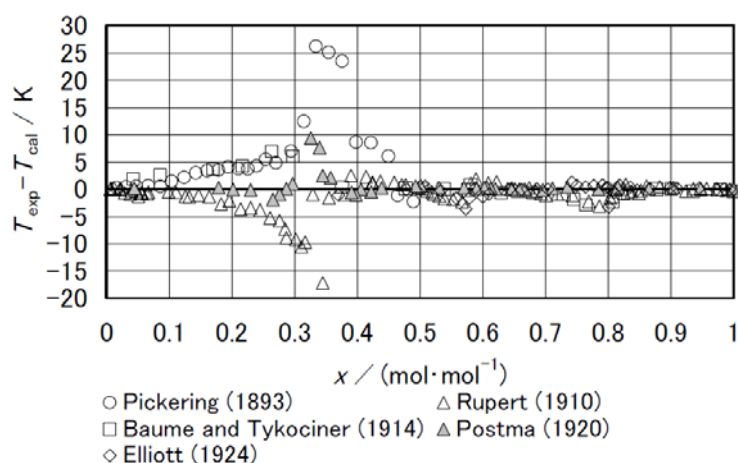


Fig.1 Deviation of measured freezing point temperatures from correlations by Tillner-Roth [2].

Table 1 Historical data of vapor pressure of ammonia.

Author	Year	T	p	Ref.
Keyes	1918	240-398	0.103-9.96	1
Cragoe	1920	195-343	0.00563-3.31	25
McKelvey	1923	195-195	0.1	26
Beattie	1930	303-405	1.17-11.3	8
Overstreet	1937	176-242	0.0008-0.1114	27

2.9 参考文献

文献は、本文中で[1], [2,3], [4-7]のように番号で示す。

[例] Keyes ら[1] はアンモニア(NH₃)の飽和蒸気圧…

参考文献の一覧は英文表記にて文末に記載する。

記載項目は、本文文末の例を参照のこと。

3. 提出方法

PDF ファイルに変換し、年次大会ホームページ

(<https://www.jsrae-nenji.org/nenji2019/index.html>)

を通じて提出する。ファイル名は [講演番号].pdf とする。例えば、この文書の場合、”A101.pdf” となる。

講演番号は、プログラム作成時に決定する予定である。後日、年次大会ホームページに掲載するプログラムで確認する。

PDF 変換の設定は高解像度 High quality を推奨するが、ファイルサイズは 5MB 以下とする。ファイル容量が上限を超えた場合は、実行委員会でファイル容量を圧縮する場合があります。

システムの不具合等の理由で上記のホームページから提出できない場合は、PDF ファイルを E メールに添付し、jsrae19@jsrae.or.jp 宛に送付する。

4. 原稿提出期限

2019年7月12日(金) 必着(締切厳守)

5. 問合せ先

5.1 日本冷凍空調学会 2019 年度年次大会実行委員会

E-mail : jsrae19@jsrae.or.jp

5.2 日本冷凍空調学会事務局

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 13-7 日本橋大富ビル 5 階

TEL/FAX : 03-5623-3223/3229

謝辞

(科研費番号など) …

(本文終了)

NOMENCLATURE

c_p : specific heat at constant pressure, $\text{kJ} \cdot \text{kg}^{-1} \cdot \text{K}^{-1}$

h : specific enthalpy, $\text{kJ} \cdot \text{kg}^{-1}$

p : pressure, kPa

T : temperature, K

t : Celsius temperature, °C

V : volume, m^3

REFERENCES

- [1] F.G. Keyes and R.B. Brownlee, The Vapor Pressure of Liquid Ammonia up to the Critical Temperature. [Part II.], *Journal of the American Chemical Society*, **40**(1) (1918), pp. 25–53.
- [2] R. Tillner-Roth, J. Li, A. Yokozeki, H. Sato and K. Watanabe, “Thermodynamic Properties of Pure and Blended Hydrofluorocarbon (HFC) Refrigerants”, JSRAE, (1997).

- [3] T. Miyazaki and K. Oguchi, *Proc. 2001 JSRAE Annual Conference*, JSRAE, (2001), pp. 181–184. (in Japanese)
- [4] Technical report of JSRAE, JSRAE Corp., (2010. 4).
- [5] Wind in power: 2015 European statistics, available from <<http://www.ewea.org/statistics/>>, (accessed on Apr. 14, 2016).